平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	13

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	生徒教育振興事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		教育総務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	大和良成
事業の概要	中学校の部活動における中体連等の参加経費を負担する。					

全体計画	/単年度繰返	
（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	8,500 千円
	事業費計	8,500 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　　）
第５期総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～
	基本施策	#	学校教育の充実
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実
	事務事業の種類	■	自治事務　□ 法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	2,052 千円	1,807 千円	1,338 千円	1,836 千円	1,700 千円
	合計	2,052 千円	1,807 千円	1,338 千円	1,836 千円	1,700 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	生徒、保護者
【抱える課題やニーズは】	部活動加入率の増加等もあり、大会参加経費が増加傾向にあり、大会への参加奨励のための支援を要する。
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	本事業によって保護者負担の軽減を図る。部活動を通じて仲間意識を養うとともに生徒の健康保持、増進を図る。
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	仲間意識が養われ、生徒が充実した学校生活を送ることによって、より良い学校づくりにつながり、さらには学習意欲の向上にもつながる。

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

よりよい学校づくりを行う対象学校数

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 中学校数	目標年度	平成23年度
	目標値	1 校
	実績値	1 校
	達成度	100.0 %
②	目標年度	
	目標値	
	実績値	
	達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
大会参加に係る負担金の申請	中学校より実施要項並びに負担費用の内訳を付した申請書の提出があり、参加費補助要項（内規）に基づき内容を審査し、適当であれば資金前渡により負担金を支出。
大会参加に係る負担金の申請	大会終了後、領収書を添付した報告書を提出願い、支出状況を確認の上精算。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	義務教育課程における活動であり、保護者の負担軽減を図るとともに、部活動を通じて仲間意識を養い、かつ生徒の健康保持、増進を図る上で必要な事業である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	仲間意識が強まり、生徒が充実した学校生活を送ることによって、より良い学校づくりにつながっている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	参加費補助要項（内規）に基づき参加経費を支出しており、適切な精査とともに可能な限り効率的な執行を図っている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	対象生徒の経費負担を等しく行っており、公平性を確保している。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
義務教育課程における活動であり、保護者の負担軽減を図るとともに、部活動を通じて仲間意識を強め、かつ生徒の健康保持、増進を図る上で本事業は計画どおり進めている。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
参加費補助要項（内規）を定め参加経費を支出しているが、地区大会の開催箇所や部員数によって参加負担金は増減するため、適正な経費算出しながら、現状維持による継続が必要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）